

# アクアバランサー-基本使用方法

減農薬栽培のお役に立ちます

作物名

水田稲作

使用例 < 10 a (1 反)あたり >

| 時期   | 使用量 | 希釈率     | 使用方法  |
|------|-----|---------|---|
| 育苗時  | 1L  | 約 500 倍 | ビニールカバーをはがした後、3 日おきに 2~3 回たっぷり<br>散布 (根張り強化)                |
| 田植え後 | 10L | 原液      | 約 1 週間後に、水の取入れ口に注ぐ<br>(病気予防 根張り強化 樹勢強化)<br>(有用微生物とその生成物質供給) |
| 定植後  | 9L  | 原液      | 幼穂形成期 7~10 日前に水の取入れ口に注ぐ<br>(樹勢強化)                           |

\* 使用量、回数、希釈率は一般参考値です

使用上の注意

☆ 除草剤使用の際、散布後 7~10 日後にアクアバランサーを水の取入れ口に注いでください

○ 使用量の表記の無い場合、通常の灌水量にあわせて散布してください

使用効果

アクアバランサー-使用生産者から以下の効果が報告されています

- ・ 収量増加
- ・ 食味値の向上
- ・ 倒伏軽減

多様な微生物・酵素・アミノ酸・ミネラルの力で痩せた土壌は改善されます。有機な土壌もアクアバランサーを併用する事でさらに収量アップ・病気が軽減します。

年々、継続使用することでより土壌が強くなり品質も向上し、農薬コスト削減につながります。

●完熟堆肥とアクアバランサーを併用すると、微生物群がさらに活性化してより効果を発揮します●

\* アクアバランサーは(財)日本食品分析センターの急性経口毒性試験(LD50)で実験上無害の最高値(20ml/kg)が証明されています。多く与えても弊害は一切ありませんので安心してご使用ください。

製造元 有限会社 クローネ

大分県 大分市 皆春 166-5